



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社JMC 上場取引所 東
コード番号 5704 URL <https://www.jmc-rp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 渡邊 大知
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 篠崎 史郎 TEL 045-477-5751
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	900	9.8	109	△6.4	111	△6.7	74	12.7
2023年12月期第1四半期	820	24.7	116	22.6	119	△3.3	66	△19.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	13.50	13.36
2023年12月期第1四半期	12.51	12.03

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	5,025	2,948	58.7	527.65
2023年12月期	4,980	2,861	57.4	519.90

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,948百万円 2023年12月期 2,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	9.9	580	8.1	572	7.2	380	4.5	70.92

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	5,588,400株	2023年12月期	5,503,600株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	300株	2023年12月期	300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	5,553,673株	2023年12月期 1 Q	5,320,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2024年1月1日～2024年3月31日)における我が国経済は、個人消費の持ち直しや、企業業績の改善が見られ、緩やかな景気回復が継続する一方、ロシアとウクライナの戦争状態の長期化に加え、中東情勢の悪化、中国経済の停滞により、依然として不透明な状況であります。

当社を取り巻く試作・開発市場は、EV(電気自動車)開発の本格化により、複雑形状かつ大型サイズの試作需要の増加が継続しました。一方でFA(ファクトリーオートメーション(注1))協働ロボットについては、一部の量産案件において、顧客の最終消費地における需要状況の不透明化により、受注量の減少が見込まれております。

このような環境の中、新たな生産技術「ギガキャスト(注2)」に対応する大型低圧鋳造炉と、国内最大規模の砂型鋳造による工場棟「第8期棟」(いずれも2023年12月期に導入)の稼働を開始し、今後需要の増加が見込まれる大型鋳造品を中心とした受注活動の強化に努めましたが、新工場棟の操業開始に伴うコストを賄いきれず、営業利益は減益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高900,355千円(前年同四半期比9.8%増)、営業利益109,086千円(前年同四半期比6.4%減)、経常利益111,878千円(前年同四半期比6.7%減)、四半期純利益74,980千円(前年同四半期比12.7%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 3Dプリンター事業

3Dプリンター事業におきましては、心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」で国際会議や展示会への出席及び出展のための人員を増強し、積極的な販売促進活動を実施したことで、北米地域向け輸出案件を中心に堅調に推移しました。

一方で工業向け試作品を中心とした出力サービスは、大口案件の獲得がなかったことや長納期案件の増加もあり、当第1四半期累計期間はやや低調な推移となりました。

この結果、3Dプリンター出力事業の売上高は138,493千円(前年同四半期比14.8%減)、セグメント利益は22,925千円(前年同四半期比31.7%減)となりました。

② 鋳造事業

鋳造事業におきましては、自動車メーカー各社及びTier1(ティアワン)部品メーカーを中心とした国内外のEV関連の試作及び開発の活性化に伴い、高難易度、大型の鋳造部品の受注が増加しました。また、クラシックカーやバイクに関する新ブランド「PZ」(ピーゼット(注3))を立ち上げ、パーツラインナップや顧客層の拡充に向けた活動を強化しました。

生産面ではコンセプトセンター(長野県飯田市)の新たな砂型鋳造棟「第8期棟」での柔軟な生産体制の構築に向けた設備導入の検討を進めました。

この結果、鋳造事業の売上高は613,803千円(前年同四半期比17.6%増)、セグメント利益は107,163千円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

③ CT事業

CT事業におきましては、二次電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術・材料、装置及び二次電池メーカーが出展する大規模な展示会「BATTERY JAPAN(バッテリージャパン)国際二次電池展」への出展を契機に、次世代蓄電池の研究開発分野における産業用CTの認知拡大が進みました。また、顧客製品の不具合箇所を特定する「非破壊検査・選別サービス」の獲得もあり、売上高・セグメント利益とも堅調に推移しました。

この結果、CT事業の売上高は148,057千円(前年同四半期比9.2%増)、セグメント利益は115,213千円(前年同四半期比17.9%増)となりました。

(注1) ファクトリーオートメーション

工場における生産工程の自動化を図るシステムのことで、当社では需要増加が著しい協働ロボット分野で使用される筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

(注2) ギガキャスト

大型の鋳造設備で複数のアルミ合金部品を1つのパーツとして成型し、大型の車体部品を生産する方法です。当社では自動車生産工程のギガキャスト化を見据え、試作段階での大型アルミニウム鋳造品の提案を強化しております。

(注3) ピーゼット

従来「JMC BASE」として取り組んできた多彩な旧車のアフターパーツ開発だけではなく、性能や品質といった付加価値を高められるラインナップに注力し、より魅力的なパーツの開発を目指すとともに、最新技術でかつての名車を蘇らせることで、全ての人が快適に乗車できる環境をつくることをコンセプトにした、当社の新たなレストアブランドです。(https://pz-vehicles.com/)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,657,488千円となり、前事業年度末に比べ94,967千円増加いたしました。これは主に商品及び製品が58,088千円、受取手形及び売掛金が54,992千円減少したものの、現金及び預金が134,587千円、前渡金が59,356千円増加したことによるものであります。

固定資産は3,368,181千円となり、前事業年度末に比べ49,902千円減少いたしました。これは主に建物が24,408千円、リース資産が16,987千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,025,669千円となり、前事業年度末に比べ45,065千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,070,937千円となり、前事業年度末に比べ57,966千円減少いたしました。これは主に短期借入金が50,000千円増加したものの、未払法人税等が54,535千円、賞与引当金が36,575千円減少したことによるものであります。

固定負債は1,006,176千円となり、前事業年度末に比べ15,651千円増加いたしました。これは主にリース債務が19,368千円減少したものの、長期借入金が34,996千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,077,114千円となり、前事業年度末に比べ42,315千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,948,555千円となり、前事業年度末に比べ87,380千円増加いたしました。これは四半期純利益を74,980千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、事業セグメントごとに過不足はあるものの、概ね当社の想定どおりに推移いたしました。

通期の業績予想につきましては、2024年2月14日公表の「2023年12月期 決算短信」における2024年12月期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	303,243	437,831
受取手形及び売掛金	676,338	621,346
電子記録債権	183,030	213,089
商品及び製品	69,909	11,820
仕掛品	82,730	114,574
原材料及び貯蔵品	86,606	90,551
前払費用	49,119	43,533
未収消費税等	52,298	—
前渡金	59,064	118,421
その他	744	6,871
貸倒引当金	△565	△550
流動資産合計	1,562,520	1,657,488
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,910,565	1,886,157
機械及び装置（純額）	427,891	430,842
土地	320,737	320,737
リース資産（純額）	222,589	205,602
建設仮勘定	121,840	121,674
その他（純額）	274,132	275,315
有形固定資産合計	3,277,757	3,240,328
無形固定資産	40,689	44,648
投資その他の資産	99,636	83,204
固定資産合計	3,418,083	3,368,181
資産合計	4,980,604	5,025,669
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,314	119,435
短期借入金	200,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	256,012	249,513
リース債務	86,780	87,146
未払金	271,329	236,562
未払法人税等	82,106	27,571
契約負債	7,251	12,212
賞与引当金	76,008	39,432
役員賞与引当金	22,572	—
製品保証引当金	204	1,350
その他	11,324	47,711
流動負債合計	1,128,904	1,070,937
固定負債		
長期借入金	738,958	773,954
リース債務	161,460	142,092
資産除去債務	89,131	89,301
その他	974	828
固定負債合計	990,525	1,006,176
負債合計	2,119,429	2,077,114

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,609	813,809
資本剰余金	794,609	800,809
利益剰余金	1,259,359	1,334,340
自己株式	△403	△403
株主資本合計	2,861,174	2,948,555
純資産合計	2,861,174	2,948,555
負債純資産合計	4,980,604	5,025,669

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	820,132	900,355
売上原価	482,214	546,590
売上総利益	337,917	353,764
販売費及び一般管理費	221,319	244,678
営業利益	116,598	109,086
営業外収益		
受取利息	2	1
補助金収入	4,097	6,341
受取保険金	1,235	—
その他	1,838	589
営業外収益合計	7,174	6,933
営業外費用		
支払利息	2,662	2,843
為替差損	699	1,298
その他	517	—
営業外費用合計	3,879	4,141
経常利益	119,892	111,878
特別損失		
固定資産除却損	18,160	—
固定資産売却損	1,908	—
特別損失合計	20,068	—
税引前四半期純利益	99,823	111,878
法人税、住民税及び事業税	44,399	22,090
法人税等調整額	△11,129	14,807
法人税等合計	33,270	36,897
四半期純利益	66,553	74,980

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	162,522	522,042	135,567	820,132	—	820,132
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	162,522	522,042	135,567	820,132	—	820,132
セグメント利益	33,578	103,240	97,761	234,580	△117,982	116,598

(注) 1. セグメント利益の調整額△117,982千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	3D プリンター 事業	鑄造事業	CT事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	138,493	613,803	148,057	900,355	—	900,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	138,493	613,803	148,057	900,355	—	900,355
セグメント利益	22,925	107,163	115,213	245,302	△136,216	109,086

(注) 1. セグメント利益の調整額△136,216千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。